

## 朱雀門 (1957)

メディア 映画

ジャンル 時代劇 ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 101分

初公開日 1957/03/20

### 【解説】

川口松太郎の『皇女和の宮』を、八尋不二が脚色し森一生が監督したメロドラマ。幕末における悲恋の行く末を、市川雷蔵、若尾文子、山本富士子が演じた。宮川一夫の撮影にも注目。

幕末、皇女和の宮は有栖川熾仁と婚約していた。そして和の宮の侍女である夕秀もまた熾仁に惹かれていた。しかし公武合体を策す幕府は、和の宮を徳川家茂の正室とすることを決めてしまう。夕秀は熾仁と和の宮を京都へ逃そうとするが、父の友房に阻まれてしまった。和の宮は御所に引き取られ、夕秀は僧侶に伴われ熾仁の隠れ家に連れて行かれる。そこで熾仁と夕秀は寝食をともにし、やがて熾仁は夕秀の魅力の虜になっていった。それを知った和の宮は將軍家への降嫁を承諾する。

### 【クレジット】

監督 森一生

製作 永田雅一

企画 辻久一

原作 川口松太郎

脚本 八尋不二

撮影 宮川一夫

美術 西岡善信

音楽 斎藤一郎

出演 市川雷蔵

若尾文子

山本富士子

夏目俊二

東野英治郎

小沢栄

舟木洋一

柳永二郎

三宅邦子